

令和 3 年 度

地域政策科学研究科（前期）

一 般 入 試

専 門 科 目

時 間 180 分

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 問題冊子はこの表紙を除いて 1 枚、別冊子の資料が 3 枚です。
印刷不鮮明の箇所などがあれば、監督者に申し出て下さい。
3. 解答は、別紙の解答用紙に横書きで記入して下さい。
4. この問題冊子とは別に、解答用紙が 1 枚配布されていますが、そのすべての
用紙の指定欄に 科目名 と 受験番号 を必ず記入して下さい。
5. 試験終了の合図とともに、ただちに、筆記用具を机の上に置いて下さい。
6. 解答用紙は持ち帰らないで下さい。

令和3年度（前期）

（一般入試）

地 域 史

次ページ以降に掲載した史料は、白河町長藤田新次郎の日記の一部（大正7年8月～9月）である。史料を読み、以下の問いに答えなさい。

問1 1918(大正7)年に日本全国で米騒動が発生しているが、その原因を説明しなさい。

問2 次ページ以降の史料によれば、白河で8月16日の夜に米の廉価販売を求める騒動が発生している。史料の記述をもとに、その騒動の概要をまとめなさい。

問3 以下の文章は、町長藤田がおこなった米価高騰への対応についてまとめたものである。空欄（A）～（G）を史料本文から引用して埋めなさい。

町長藤田は、町内の米価を引き下げするため外国米を買い入れようとし、上京して「（A）」に外国米買い入れを申し込んだ。

また、町内の米穀商等と協議し、米の廉価販売を実行した。8月15日には白米1升あたり30銭で販売すると決めたが、16日の騒動を受けて、17日には「（B）」に値を下げた。その必要経費は「（C）」と見積もられている。そのうち「（D）」は、寄付金でまかなうこととした。町長藤田は寄付金募集に奔走し、8月20日までに5035円の寄付金を集めた。

9月に入ると、米穀商から米を町外に移出したいという希望が出されたため、町長は、町内の米の在庫を確認した上で、「（E）」に限って町外移出を認めることとした。町に必要な量を確保した上で、それを超過する分については町外への移出を認めたのである。9月3日・4日にかけて町内の米の在庫を確認した町長藤田は「（F）」

と考えた。そこで藤田は、移出する米を米穀商から要求のあった「三十車」から「十五車」に制限するとともに、「（G）」

と、米の移出と同時に米価を引き下げを要求した。米の大量移出は民心を刺激しかねないと考え、その刺激を米価引き下げによってやわらげようとしたのである。

このように町長藤田は、米の買い入れ、米穀商との交渉、必要経費の捻出に取り組む、民心の動揺や不安を抑えることに尽力したのである。

問4 史料の最後に「寺内内閣辞表奉呈、大命西園寺侯ニ下ル」とあるが、どのような意味か。説明しなさい。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から公表することができませんのでご了承ください。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から公表することができませんのでご了承ください。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から公表することができませんのでご了承ください。